



ゼ子フルリゼンドル  
書翰譯

大藏省  
翻譯課

3





414  
A4179



来翰譯

峯源次郎 譯

大正十一年四月  
大隈侯爵邸 贈

拜啓茲ニ論文一章ヲ添テ貴下ニ呈ス論説ヲ雜紙ニ掲載スルニ  
 付キ之レヲ校正シ且ツ其不足ヲ補フニ全ク其一夜ヲ徹シタリ  
 而シテ余ノ刪除セシ所ハ其論旨ノ貴要ノ部ノミニシテ其枝葉  
 ニ涉タリテ貴重ナラザル部分ニ至リテハ少シモ校正ヲ加フル  
 ヲナシ而シテ余ノ之レヲ掲載スルヤ徒ラニ失誤ヲ攪揆スルニ  
 過キズト云フ誹謗ヲ招カンコト必セリト吾之レヲ信スルナリ然  
 ト雖氏其コレヲ誹謗スルモノ、言果シテ其當ヲ得ルヤ否ハ未  
 ダ知ル可カラザルナリ

日本政府ノ琉球藩覆分タルヤ余カ聞ク所ニ依レハ其事件ニ至  
 リテハ盡ク英断ノ所置ト謂フマシト雖氏一千三百九十五年支  
 那人ノ云フ所ニ依レハ一千三百二十一年以來ナリ以來殆ント



五百年間琉球王カ支那政府ヨリテ叙任ノ令ヲ受ケタルヲ日本政府カ其終許シ置キタルハ今之レヲ秘匿スル能ハザルナリ  
一千六百十三年ニ於テ琉球王ノ囚ヲ免シテ其國ニ歸セシ後ト雖氏猶ホ琉球王カ支那政府ヨリ叙任ノ令ヲ受クルノ罪ヲ日本政府ハ問ハザリシナリ此事實ニ付テ余ハ慣習ノ久シキヲ經ルモノハ必ラス推理トナルベキモノナリト云ハザルヲ得ス論者ニシテ其推理ノアル所ヲ知リナガラ之レヲ舉示セザルハ必ラス一方ニ偏倚スルノ誹謗ヲ免カレザルノミナラズ其全論ノ確實ナル部分ヲ併セテ以テ柔弱ニスルニ至ルベシ  
今ヤ日本ノ如キハ則チ右ノ如ク其屬國ヲシテ叙任ノ令ヲ外國ニ受ケシメテ之レヲ問ハス其慣習ノ久シキ終ニ推理トナリタルカ為メ幾分カ其議論ノ推ヲ弱メタルモノト謂フベシ  
夫レ其叙任ヲ令シタルヤ唯宗旨上ノ禮式ニ外ナラザルベシ

イハ氏其久シキヲ經ル片ハ必ラス正真ノ推理ヲ惹起スルニ依ルベケレハ支那政府叙任ノ令ヲ以テ宗旨上ノ禮式ニ非ラスシテ之レヲ政治上ノ常習トスル片ハ必ラス支那政府ハ久慣ノ權ニ依リテ日本政府ト共ニ琉球國ヲ支配スルノ權アリ且ツ之レヲ実行スルヲ得ベシト云フベシ  
既ニ然ル片ハ則チ曩ニ日本政府カ琉球處分ニ付キテ少シモ支那ニ諮詢スル所ナク決然非常ノ改革ヲ実行シタルハ何レノ推理ニ依リシヤト支那政府ハ答ムベシ而シテ曩ニヒットマン氏カ余ニ開示セラレタル書ニ依ルモ又一千八百七十四年ノ大久保氏ノ支那條約ニ徴スルモ日本政府カ其断行ノ推理ヲ有スルアルヲ見サルナリ  
既ニ支那政府ハ日本ト共ニ琉球ヲ支配スルノ權ヲ有セシカ故ニ曩ニ支那政府カ日本ニ与ヘタル金額ハ其實日本ノ償金ニ



按スルニ此段  
文意猶安  
帖ナラス

非ラズシテ之レヲ日本政府ニ托シ琉球人民ノ救恤金トシテ渡  
シタルモノニ過キザルナリ且ツ支那政府ノ右金額ヲ日本ニ渡  
シタルモノハ琉球人民ノ曾テ支那人ヨリ害ヲ受ケタル片ニ當  
リテ日本政府其罪ヲ問タルニ由テ支那政府ハ日本ト共ニ支配  
スルノ權ヲ有スル琉球國ノ賑恤金トシテ日本ニ托シタルモノ  
ナルカ故ニ日本政府ハ右ノ金額ヲ以テ琉球人民ニ付与スルヲ  
以テ正當ト考フルナリ  
右ノ事情ハ一千八百七十四年ニ於テ「ボアツナアード」氏ト共ニ拙  
者ヨリ大久保氏ニ語りシコトアリ右ノ事情ニ由リテ考フルハ  
日本政府ノ一千八百七十四年以來琉球國ニ施セシ處分ヲ更ニ  
又タ実行スルニ當テハ先ツ之レヲ支那政府ニ諮詢セサル可ク  
ラザルニ似タリ  
余ハ琉球ノ情況ヲ論スルヲ以テ吾カ論題ノ主義トナシ其精

ヲ論ヤザリシト雖モ日本政府ノ権理ニ付テハ其詳細ヲ攪發  
ザルヲ得スヌタ余ハ單ニ琉球藩王ノ権理ヲ論陳セシト雖モ其  
論シタル所ハ敢テ日本政府ノ該島主宰ノ権理ニ干涉シ之レ  
カ是非ヲ説クニ非ザルナリ  
蓋シ日本政府ノ琉球處分タルヤ縱然不正ナルモノト云フト雖  
モ琉球人民ノ果シテ固ヨリ其臣民タルニ甘従スルモノトスル  
ハ余ノ常ニ主張スルカ如ク琉球人民ノ固ヨリ日本ニ服従ス  
ルハ疑ヲ容ル可カラザルナリ  
然レモ若シ余カ琉球問題ニ付テ日本政府ノ處分ハ悉ク其當テ  
得タルモノト云ハ、人果シテ云ハシ彼ノ記者ハ金ヲ得テ之レ  
ヲ掲載セシモノナリト然レモ余ハ左ニ非ラス偏倚ノ私ヲ挾ハ  
サマス侃々日本政府ノ過失ヲ攪撥シテ以テ該政府ヲ非難セリ  
然ト雖モ又タ其過失タルニ政府ヲシテ唯其過失タルヲ感格ヤ



シムルノミニシテ敢テ之レカ為ニ政府ノ権理ヲ弱メタルコトナ  
ク公平無私ノ論ヲ為セシカ故ニ稍信用ヲ讀者ニ得タリ  
余ノ論説ニ於テ重ニ外務卿ヲ評論セシハ固ヨリ怪シムニ足ラ  
ス何トナレハ則チ臺灣紛議ノ間外務卿非常ノ害ヲ余ニ加ヘタ  
ルコトアリ且ツ償フベカラザルノ損害ヲ日本ニ来シタルコト故チ  
リ故ニ該評論ハ其當ヲ得タルモノトス夫レ人トシテ過失アル  
ニ其過失ノ責ヲ其人ニ蒙ラサラシメンコトヲ欲スルモ其事能ハ  
ザルヤハ其人自カラ其責ヲ受ケザルヲ得ザルハ固ヨリ當然ノ  
事ナリ

願クハ此書ヲ以テ大隈氏ニ贈ラレンコトヲ請フ蓋シ或ハ同氏ノ  
考按ニ付テ萬一ヲ補裨スル所アラシカト想像スレハナリ洋具  
一千八百七十九年八月廿二日  
ゼ子ラリ、リゼンドル

平井君貴下



